



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年10月29日

上場会社名 サイオス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3744 URL <https://www.sios.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 伸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 小林 徳太郎 (TEL) 03-6401-5111
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	10,529	3.9	△6	—	△2	—	112	—
2019年12月期第3四半期	10,135	7.1	△74	—	△34	—	△74	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 93百万円(—%) 2019年12月期第3四半期 △93百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	12.97	—
2019年12月期第3四半期	△8.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	5,763	1,364	22.8
2019年12月期	5,332	1,308	23.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 1,315百万円 2019年12月期 1,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,200	3.7	40	△27.2	45	△53.3	150	363.5	17.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	8,874,400株	2019年12月期	8,874,400株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	205,838株	2019年12月期	205,768株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	8,668,607株	2019年12月期3Q	8,663,546株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 本資料に記載されるサービス・商品名等は、当社または各社等の登録商標または商標です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<当第3四半期連結累計期間の概況>

当第3四半期連結累計期間における日本及び世界経済は、引き続き、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響により、企業収益が急速に減少するなど極めて厳しい状況にあります。これに伴い、企業の新規投資意欲の減退やプロジェクトの延期が見られるものの、当社グループを取り巻く事業環境においては、リモートワーク環境の整備、クラウド環境への移行、業務プロセスの効率化や自動化への取り組み等、デジタルトランスフォーメーション（DX）（*1）への投資が加速しつつあります。このような事業環境の中、当社グループはお客様のDX推進をサポートできるよう、高付加価値の製品・サービスを提供しております。

また、COVID-19の拡大で一変した社会経済環境に対応するため、リモートワーク体制への移行による全従業員の安全確保と業務の効率化を推進しております。加えて、2020年10月1日に主要子会社3社を合併したことにより、人的資源・知的財産・資金等の経営資源を集中し、経営の機動力と生産性の向上を図ってまいります。

当第3四半期連結累計期間の各セグメントの業績は、次の通りとなりました。

① オープンシステム基盤事業

主力自社製品の「LifeKeeper」（*2）は、COVID-19拡大の影響により米州及び欧州の地域で減収となったものの、日本でのライセンス販売が順調に推移したため、堅調な増収となりました。また、Red Hat Enterprise Linux（*3）をはじめとするRed Hat, Inc. 関連商品（*4）は堅調、OSS（*5）関連商品は好調、OSSサポートサービスは順調な増収となりました。これらにより、売上高は6,089百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

利益面では、「LifeKeeper」の機能強化にかかる研究開発費、新規事業関連費用が増加したため、セグメント利益は42百万円（同21.8%減）となりました。

② アプリケーション事業

MFP向けソフトウェア（*6）製品は、サブスクリプション（*7）販売への移行が進み売上高が一括計上されず次期以降に按分されたこと及びCOVID-19拡大の影響でオフィス向け複合機の出荷が低調であったことにより、減収となりました。一方、システム開発・構築支援は、教育機関など文教向けを中心に好調な増収となりました。「Gluegentシリーズ」（*8）は好調、金融機関向け経営支援システム販売は順調な増収となりました。これらにより、売上高は4,439百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

利益面では、文教向けシステム開発・構築支援等の増収に加え、金融機関向けシステム開発・構築支援において前期に発生していた不採算案件の影響等がなくなったものの、前述のMFP向けソフトウェア製品の減収による影響が大きく、48百万円のセグメント損失（前年同期は128百万円の損失）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は10,529百万円（前年同期比3.9%増）となり、同期間では過去最高の売上高を達成いたしました。

利益面では、営業損失は6百万円（前年同期は74百万円の営業損失）、経常損失は2百万円（前年同期は34百万円の経常損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、放送局向けWebサービス事業及び社会公共アウトソーシングサービス事業を移転したことに伴う移転利益を192百万円計上したため、112百万円（前年同期は74百万円の純損失）となりました。

また、当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）とROIC（年率換算数値、税引後営業利益÷（株主資本+有利子負債））は、次の通りとなりました。

EBITDA：62百万円（前年同期は△7百万円）

ROIC（年率換算数値）：△0.3%（前年同期は△3.2%）

(*1) デジタルトランスフォーメーション（DX）

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

(*2) LifeKeeper

本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。

(*3) Red Hat Enterprise Linux

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。

(*4) Red Hat, Inc. 関連商品

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc.が開発するオープンソースの製品。

(*5) OSS

オープンソースソフトウェアの略。ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。

(*6) MFP向けソフトウェア

プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multifunction Peripheralの略)という。MFP上で利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」「Speedoc」等。

(*7) サブスクリプション

ソフトウェア等の製品・サービスの提供に対して、定期的に定額課金または従量課金するモデル。

(*8) Gluegentシリーズ

IDの管理をクラウドで行うサービス「Gluegent Gate」をはじめ、Google Calendarにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Appsグループスケジューラ」、クラウド型ワークフローの「Gluegent Flow」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、現金及び預金の増加522百万円等の要因により、5,035百万円（前連結会計年度末比12.4%増）となりました。

固定資産は、ソフトウェア仮勘定の減少184百万円、ソフトウェアの増加77百万円等の要因により、727百万円（同14.6%減）となりました。

この結果、総資産は、5,763百万円（同8.1%増）となりました。

②負債

流動負債は、前受金の増加324百万円、買掛金の増加61百万円等の要因により、3,827百万円（前連結会計年度末比14.1%増）となりました。

固定負債は、長期借入金の減少92百万円等の要因により、571百万円（同14.4%減）となりました。

この結果、負債合計は、4,399百万円（同9.3%増）となりました。

③純資産

純資産合計は、利益剰余金の増加69百万円等の要因により、1,364百万円（前連結会計年度末比4.2%増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年2月5日に公表した2020年12月期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2020年10月29日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,266,069	2,789,049
受取手形及び売掛金	1,754,762	1,807,462
仕掛品	47,536	37,808
前渡金	181,936	264,138
その他	229,853	137,278
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	4,479,958	5,035,537
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	112,312	95,121
その他（純額）	74,480	64,863
有形固定資産合計	186,792	159,984
無形固定資産		
のれん	786	142
ソフトウェア	39,720	116,784
ソフトウェア仮勘定	184,413	-
その他	1,916	1,815
無形固定資産合計	226,835	118,742
投資その他の資産		
投資有価証券	137,073	133,531
退職給付に係る資産	43,741	42,682
差入保証金	207,904	217,706
その他	55,233	59,312
貸倒引当金	△5,071	△4,221
投資その他の資産合計	438,881	449,011
固定資産合計	852,509	727,738
資産合計	5,332,468	5,763,275

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	856,680	918,198
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	132,303	123,973
リース債務	7,156	7,152
未払法人税等	19,619	47,974
前受金	1,842,348	2,166,468
賞与引当金	34,262	32,399
受注損失引当金	326	520
その他	413,077	480,726
流動負債合計	3,355,774	3,827,412
固定負債		
長期借入金	413,620	321,280
退職給付に係る負債	230,539	227,465
リース債務	11,362	10,672
長期預り金	11,632	11,632
その他	750	754
固定負債合計	667,905	571,805
負債合計	4,023,679	4,399,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
利益剰余金	82,963	152,030
自己株式	△87,198	△87,254
株主資本合計	1,477,284	1,546,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,961	△6,355
為替換算調整勘定	△208,398	△224,586
その他の包括利益累計額合計	△212,360	△230,942
新株予約権	43,863	48,703
純資産合計	1,308,788	1,364,057
負債純資産合計	5,332,468	5,763,275

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	10,135,952	10,529,292
売上原価	7,028,416	7,384,914
売上総利益	3,107,535	3,144,378
販売費及び一般管理費	3,181,770	3,150,827
営業損失(△)	△74,234	△6,449
営業外収益		
受取利息	9,606	5,082
為替差益	25,135	19,770
持分法による投資利益	1,778	-
業務受託料	2,050	-
その他	10,969	8,339
営業外収益合計	49,539	33,192
営業外費用		
支払利息	2,928	2,369
投資事業組合運用損	12	1,269
持分法による投資損失	-	13,797
デリバティブ評価損	6,082	11,936
その他	435	293
営業外費用合計	9,459	29,667
経常損失(△)	△34,154	△2,924
特別利益		
関係会社株式売却益	50,999	-
事業分離における移転利益	-	192,881
新株予約権戻入益	450	-
特別利益合計	51,450	192,881
特別損失		
固定資産除却損	-	615
投資有価証券売却損	-	1,133
その他	-	268
特別損失合計	-	2,016
税金等調整前四半期純利益	17,295	187,940
法人税、住民税及び事業税	61,320	75,529
法人税等調整額	30,903	-
法人税等合計	92,224	75,529
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△74,928	112,410
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△74,928	112,410

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△74,928	112,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,484	△2,393
為替換算調整勘定	△15,218	△16,516
持分法適用会社に対する持分相当額	△480	328
その他の包括利益合計	△18,183	△18,581
四半期包括利益	△93,111	93,828
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△93,111	93,828

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2019年3月28日開催の第22回定時株主総会の決議により、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を480,279千円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

2020年2月21日開催の取締役会において、次の通り決議しております。

普通株式の配当に関する事項

①配当金の総額	43,343千円
②配当の原資	利益剰余金
③1株あたり配当額	5円00銭
④基準日	2019年12月31日
⑤効力発生日	2020年3月30日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大が当社グループの業績に与える影響については、現時点で限定的であり、また、感染拡大傾向は翌連結会計年度にかけて通減していくと仮定して、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、COVID-19拡大に伴う影響は、不確定要素が多く、上記仮定に変化が生じた場合には、将来における財政状態、経営成績およびキャッシュフローに影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,722,027	4,413,744	10,135,772	180	10,135,952
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,014	1,014	△1,014	—
計	5,722,027	4,414,758	10,136,786	△834	10,135,952
セグメント利益 又は損失(△)	53,938	△128,353	△74,414	180	△74,234

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
9,517,751	445,416	123,002	49,781	10,135,952

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,089,421	4,439,691	10,529,112	180	10,529,292
セグメント間の内部売上高 又は振替高	836	1,971	2,807	△2,807	-
計	6,090,257	4,441,662	10,531,920	△2,627	10,529,292
セグメント利益 又は損失 (△)	42,155	△48,784	△6,629	180	△6,449

(注) セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
10,069,683	308,242	102,505	48,861	10,529,292

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(連結子会社間の吸収合併)

当社は、2020年7月6日の取締役会において、当社の連結子会社であるサイオステクノロジー株式会社を吸収合併存続会社として、株式会社キーポート・ソリューションズ、株式会社グルージェントを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行うことを決議いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

① 結合企業

名称 サイオステクノロジー株式会社
事業の内容 情報システムの開発・基盤構築・運用サポート等

② 被結合企業

名称 株式会社キーポート・ソリューションズ
事業の内容 情報システムのコンサルティングサービスおよび開発等
名称 株式会社グルージェント
事業の内容 クラウドサービスの開発・販売、情報システムの受託開発

(2) 企業結合を行った主な理由

国内の主要子会社3社における人的資源・知的財産・資金等の経営資源を集中し、さらなる業務運営の効率化と生産性の向上をはかるため。

(3) 企業結合日

2020年10月1日

(4) 企業結合の法的形式

サイオステクノロジー株式会社を存続会社、株式会社キーポート・ソリューションズ、株式会社グルージェントを消滅会社とする吸収合併

(5) 結合後企業の名称

サイオステクノロジー株式会社

(6) その他取引の概要に関する事項

本合併は、当社の完全子会社間の合併であるため、株式その他金銭等の割当てはありません。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成31年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号平成31年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施する予定であります。